

# 緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.203

発行: 令和5年8月1日

## 講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の20日から)

講習会の詳細は、広報旭川市民「あさひばし」に掲載

### 「庭木の冬囲いと縄の縛り方の基礎」(緑のセンター)

日時 令和5年10月7日(土) 定員10名

午後13時30分～15時30分

講師 緑のセンター所長

※講座の受付は、9月20日(水) 午前9時～

### 「庭木の冬囲いと縄の縛り方の基礎」(常磐公園)

日時 令和5年10月14日(土) 定員10名

午前9時00分～11時00分

講師 常磐公園管理事務所 所長

※講座の受付は、緑のセンター (☎0166-65-5553)

9月20日(水) 午前9時～

※講座の場所は、常磐公園管理事務所(道立美術館横)です。(☎0166-23-8961)

### 「冬に室内で楽しむ鉢花の育て方」

(シクラメン・ポインセチア・プリムラ等)

日時 令和5年10月22日(日) 定員10名

午後13時30分～15時30分

参加費1,000円

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、9月20日(水) 午前9時～

### 「ブドウや小果樹の栽培管理講座」

日時 令和5年10月26日(木) 定員20名

午後13時30分～15時30分

講師 上川農業改良普及センター

専門普及指導員

※講座の受付は、9月20日(水) 午前9時～

## 展示会のご案内

### 「ミニ盆栽展」

日時 令和5年9月16日(土)、17日(日)

作品提供 旭川ミニ盆栽愛好会

### 写真で振り返る📷

### 緑のセンターまつり 2023

6月24日お天気に恵まれ、たくさんの方々に、ご来場いただき、誠にありがとうございました。



旭川農業高校生活科学科



健康体操



社から丘で実験ショー



チンドン屋春月



丸太切り大会



プランターディスプレイ

### 【休館日のお知らせ】

4月～10月は、第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月～3月は、毎週月曜日が休館日です。( " )



## 8月の園芸作業

### 1、鉢花・草花・球根類

- **ユリ**や**グラジオラス**は、花が終わったら花柄摘みを行い、化成肥料を少量、株元に施し、球根の肥大を図ります。
- **ベコニア**類、**ゼラニウム**などの草花は水と肥料を施し、花柄摘みを続けます。
- **シクラメン**はお盆が過ぎたら、新しい用土に鉢の周り3分の1程削り、一回り大きい鉢に植替えましょう。
- **ペチュニア**の伸びすぎた枝が、見苦しいときは切り戻しをしましょう。

### 2 庭木・果樹類

- **サクランボ**の灰星病は、地表面に落下した罹病果が菌核化して越冬するほか、樹上でミイラ化した被害果でも越冬します。翌年の伝染源となる病果の処分を行いましょう。集めて地中深く埋めるか、ゴミとして処分しましょう。
- **ツツジ**などはすでに花芽ができていますので樹冠から飛び出した新梢だけを切り戻し樹形を整える程度にしましょう。
- 甘い**ブドウ**をつくる為には葉に太陽の光を十分当てるのが大切です。枝が重ならないよう誘引し、葉の付け根から出る副梢(わき芽)は葉を2~3枚残して切り取りましょう。
- **イチイ**、**マツ**類の樹形を整える整枝・剪定は8月中旬~9月下旬が適期です

### 3 観葉植物類

- 6~7月に引き続き、植替え、挿し木、株分け、取り木の適期です。
- 植替え用土は、赤玉土(中)6、腐葉土3、火山礫1の混合土が一般的に使われています。

### 4 多肉植物・サボテン類

- **シャコバサボテン**は未熟な新芽(茎節)に花芽は出来ないのので、8月中旬までに未熟な新芽は摘み取ります。肥料は打ち切ります。



## 9月の園芸作業

### 1 鉢花・草花・球根類

- **スイセン**類、**クロッカス**、**シラー**等の球根は中旬から下旬に植え付けましょう。
- **インパチェンス**、**アキランサス**、**コリウス**、**ガザニア**、**ニチニチソウ**、**ロベリア**など四季咲き性の草花は、冬の間も花を楽しめます。初霜前の9月中~下旬に鉢上げして、室内で栽培します。
- **アザレア**は蕾の充実期です。肥料を打ち切り、乾き過ぎないように管理しましょう。
- **ポインセチア**や**ハイビスカス**等の耐寒性のない鉢物は9月中旬には入室しましょう。**ポインセチア**や**カラコエ**は短日植物なので、夕方5時から翌朝8時まで光が当たらないようにします。
- **ビオラ**など**常緑で越冬する草花**には、耐寒力をつけることが大切です。草木灰・硫酸加里等カリ肥料を9月上旬から施用し始めましょう。

### 2 庭木・果樹類

- **西洋シャクナゲ**等、寒さに弱い花木にはカリ肥料を与えましょう。
- **生垣**、**玉物**等、新芽が伸びて不揃いになったものは随時刈り取りましょう。
- **イチイ**、**ヒバ**、**マツ**類などの剪定は9月下旬までに終わらせましょう。
- **ポタン**、**シャクヤク**は、夏が過ぎて気温・地温が低下してくると新根が伸びてきます。株分け植替えは、新根が伸びる9月上~中旬までに終わらしましょう。

### 3 観葉植物類

- 夏季間に戸外で管理していた観葉植物も9月下旬までに多くの種類を室内に移しますが、入室前に病虫害防除を入念に行いましょう。

### 4 多肉植物・サボテン類

- **シャコバサボテン**は短日植物ですから、夜は光の当たらない部屋で管理します。
- 寒さに弱い種類は9月中旬までに室内に移します。





## 植え付け時期までの秋植え球根

暑中お見舞い申し上げます。

緑のセンターでは例年、翌年の早春を彩る「秋植え球根の寄せ植え講座」を行ってきましたが、お盆を過ぎるころから園芸店でも秋植え球根が出回るので、チャレンジする良いチャンスです。

球根は早めにご購入の方が品揃いも良く、よいのですが、高温・多湿を嫌うことから、早く植え付け過ぎると腐ってしまったり、秋の段階で芽が動き、葉が伸びて霜害を受けることもあります。

### 球根の植え付け目安は紅葉を参考に

秋植え球根の植え付け時期は、本来、植える植物の種類によって違い、植える植物の発根に適した地温(気温)によって決まります。例えば「チューリップは13℃程度になってから！」と言われていますが、一般的には気温が肌寒く感ずる15℃前後になった時期が植え付け時期と考えて良いでしょう。

旭川の場合、平均気温が16℃を下回るのは平年で9月17日になるので、植え付け時期はこれ以降ということになります。目安としては木々の紅葉が始まった頃。従って、気に入った球根を早めにご購入としても植え付けは、適切な気温になるまで球根を保管することになります。

### 植え付けまで＝秋植え球根の保管

秋植え球根は一般的に暑さに弱いものが多く、直射日光が当たるような気温が高い所で保管した球根は花が咲かない可能性がありますし、湿度が高い場所で保管していた場合にはカビが生えて腐る原因になるので、球根は「涼しくて、風通しの良い所」で保管するのが良いでしょう。植え付け時期をむかえるまでの間には、植え付け予定の場所に堆肥や石灰などを施して土作りをして準備しておきたいものです。

### 代表的な秋植え球根

チューリップ、アリウム、ユリ、エレムルス、カタクリ、アネモネ、クロッカス、スイセン、フリチラリア、シラー、スノーフレーク、アイリス、ヒヤシンス、ムスカリ、チオドクサ、プシュキニア、カマシアなど

## 展示室の植物 (109)

### ビカクシダ (別名: コウモリラン)

学名: *Platycterium bifurcatum* ウラボシ科 ビカクシダ属

「コウモリラン」の由来は、垂れ下がる葉を「羽ばたくコウモリ」に例えたものと言われています。大型のシダ植物で原産地はアフリカ、アジアなどの熱帯雨林。鉢植えされたものが流通していますが、緑のセンターでは埋もれ木に着生させ、吊り下げて育てています。

近年はこのような栽培法が流行っていますが、直射日光を避け、湿度不足にならないように毎日、霧吹きすると良いでしょう。



## 〈我が家の庭づくり〉 夏編 花後の花・花茎切り かけい

《咲き終わった花は種を作ると株の勢いが衰えるので「花切り」をするのが基本》

### \*花の咲き方によるパターン

#### 1. 同じ茎に繰り返し咲く種類(次に咲く蕾のすぐ上で花切りする)

例:ネペタ、サルビア、ケントランサス、クナウティアなど

咲き終わった花の下方に次の花が上がってきます。新しい花を残して花後の茎をカットすることで次の開花をうながします。傷んだ花柄も取り除きます。

#### 2. 新しい花茎が上がってもう一度咲く種類

例:ゲラニウム、アストランティア、セントーレア、デルフィニウムなど

咲き終わった花茎の一番下から切り取ると、もう一度咲いてくれます。(二番花)。カットすることで株元から新しい芽が育つのを促します。

#### 3. 一度しか咲かない種類

例:アルケミラ、プリムラ、プルモナリア、オリエンタルポピー、エレムルスなど

一度しか咲かない種類は、種を作ると株の勢いが弱まってしまうので、花の咲き終わった茎を地際から切り取ります。刈り遅れによるこぼれ種に注意

#### 4. 一度しか咲かないけどシードヘッドを楽しめる種類

例:アステルベ、アガパンサス、アイリス、エキナセア、エリンジウムなど

結実したタネ(シードヘッド)が美しいものは、あえて花切りをしないでタネを作らせ秋に鑑賞しましょう。注:タネを成らせても大丈夫な物(種類・生育等)



花茎の切り戻し



まとめてパッサリカット



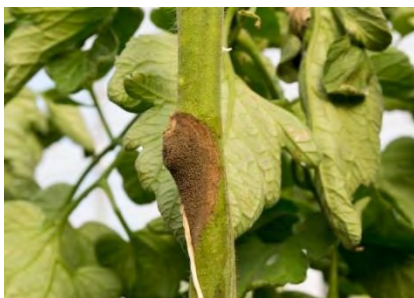
シードヘッドを楽しむ

## 植物の病気 その74 トマトの灰色かび病 (病原菌 糸状菌)

**病徴:** 幼植物では葉に褐色の大型円形病斑を、また葉柄には暗褐色水浸状の円形病斑を生じ、上部の茎葉が枯死することもあります。生育後期になると、葉や茎のほかに花弁、花梗、果実に発病が始まります。古い花弁やがく片が褐変し、果頂部やへたから果実の中に菌が侵入します。果実の表面に、やや輪郭の明瞭な、2~3mmの黄白色円形の病斑を生じますが、これは「ゴースト・スポット」と呼ばれる本病病徴の特徴です。

**寄手範囲:** 多犯性で、トマト、ナス、キュウリなどの野菜類の他、葉菜、花き、果樹などに発生します。

**防除対策:** ①マルチを行い、土壌からの病原菌の伝染を防止します。②発病果や発病葉は速やかに取り除きます。③予防薬を散布します。④お勧めは治療薬の「カリグリーン」、食品添加物として使用されます。野菜類、花き類のうどんこ病、灰色かび病に登録があります。800倍で散布します。



茎に発病した症状



ゴースト・スポットの症状



実に発生した症状